

報道関係者各位

『IQVIA ジャパン* トップライン市場データ』

**国内医療用医薬品市場 2017 会計年では 3 年連続で 10 兆円超
2017 会計年(17 年 4 月－18 年 3 月)、10 兆 5,200 億円(前年比 0.8%増)
2018 年第 1 四半期(1 月－3 月)、2 兆 5,000 億円(前年比 0.0%)**

- 2017 年会計年では、薬価ベースで 10 兆 5,154 億 52 百万円(前年比 0.8 増)。3 年連続の 10 兆円超となった。
- 2017 年会計年の市場別では、2 年ぶりに 病院・開業医・薬局その他 3 市場すべてが前年度を上回った。
- 2017 年会計年の上位 10 薬効では、2012 年度からトップを維持する「L01 抗腫瘍剤」が、暦年に続き会計年としても、薬効領域全体として初めて 1 兆円を突破した。

*2018 年 4 月 1 日から、クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社およびアイ・エム・エス・ジャパン株式会社は、IQVIA(アイキューヴィア)ジャパングループとして、新たな社名と経営体制で活動してまいります。

2018 年 5 月 22 日、IQVIA ジャパングループ(本社:東京都港区、会長:湊方彦)は、2017 会計年(17 年 4 月－18 年 3 月)と、2018 年第 1 四半期(1 月－3 月)の日本医療用医薬品市場(薬価ベース)を、「IQVIA ジャパン トップライン市場データ」として発表しました。

IQVIA ジャパングループは、日本のヘルスケア産業の発展と透明性の創造、および社会の皆様により日本のヘルスケア市場についての理解を深めていただくため、市場規模や薬効、製薬企業および医薬品の売上、処方、疾病に関するトップラインデータをメディアや医療・医学の研究に携わっている学術研究機関に提供しています。トップラインデータを開示することで、弊社は皆様と情報の共有化を図り、日本のヘルスケアの発展に貢献したいと考えています。

【2017 会計年(17 年 4 月－18 年 3 月)】日本医療用医薬品市場トピックは以下の通りです。

- 当該期間の日本医療用医薬品市場は、前年を率で 0.8%増、額で 850 億円余上回る 10 兆 5,154 億 52 百万円。3 年連続の 10 兆円超だった。
- 病院市場(病床 100 床以上)は、4 兆 5,225 億 26 百万円(前年比 1.2%増)。会計年度の病院市場のプラス成長は 2016 年の 1.8%減以来 2 年ぶり。また、3 市場(病院・開業医・薬局その他)全てが前年度を上回ったのも 2 年ぶり。
- 売上規模による上位 10 薬効のうち、2012 年度からトップの「L01 抗腫瘍剤」は、2017 暦年に続き、会計年でも薬効領域全体として初めて 1 兆円を突破。

【2018年第1四半期(1月-3月)】日本医療用医薬品市場トピックは以下の通りです。

- 当該期間の日本医療用医薬品市場は、2兆4,958億83百万円（前年比0.0%、5億74百万円増）。病院市場(病床100床以上)が1兆611億63百万円（同1.3%増）、開業医市場(病床100床未満)が5,235億32百万円（同1.1%増）、薬局その他市場(主に調剤薬局)は9,111億89百万円（同2.0%減）。
- 上位10薬効の順位では前年比で、薬効領域トップのL01抗腫瘍剤、2位A10糖尿病治療剤は変わらなかったが、J01全身性抗ウイルス剤が一つ上げて3位に、S01眼科用剤は三つ上げて5位にランクアップした。前年3位だったC09レニン-アンジオテンシン系作用薬は前年比21.4%減で三つ下がり6位と、上位10薬効中の率の変動は最大だった。

*** IQVIA ジャパン「日本医薬品市場統計」における「薬効」は ATC 分類に準拠しています。**

「ATC 分類(Anatomical Therapeutic Chemical Classification)は、薬の消費量に関する国際的な統計を取るために考案された医薬品の分類法。WHO の医薬品統計法共同研究センター(Collaborating Centre for Drug Statistics Methodology)で統括管理されている。薬効、作用部位・器官および化学的特徴によって5段階レベルで分類され、原則的に一成分の主薬効に対して1つのコードが付与される。」
(公益社団法人 日本薬学会「薬学用語解説」より抜粋)

****IQVIA ジャパン「日本医薬品市場統計」における「販売会社レベル」と「販促会社レベル」の定義は以下の通りです。**

- 販売会社レベル:卸店に対して製品を販売し、その代金を回収する機能を持つ製薬企業。
- 販促会社レベル:MRによる学術宣伝を通じて販促活動を行なっている製薬企業。

IQVIA について

IQVIA (NYSE:IQV)は、情報や革新的テクノロジー、及び臨床試験サービスを提供する世界的なリーディングカンパニーであり、データとサイエンスを駆使して、ヘルスケアに関連するお客様が患者様により良いソリューションを提供することに貢献しています。IMS HealthとQuintilesが統合することで誕生したIQVIAは、ヘルスケアの発展に寄与する医療情報、テクノロジー、分析力および人知による創意工夫を活用した幅広いソリューションを提供しています。私たちIQVIAは、お客様が新たなアプローチで臨床開発や製品の上市・販売を実現し、自信を持ってイノベーションに取り組み、いち早く有意義なヘルスケアアウトカムを実現できるようお手伝いします。世界100カ国以上で活躍する、およそ5万5000人の当社社員一人一人が、ヒューマンデータサイエンスの実現に尽力しています。この、ヒューマンデータサイエンスの原動力は「IQVIA CORE™」であり、ビッグデータ、革新的なテクノロジーと専門的かつ広範な知識に裏付けされた分析力とを結集した、実用的かつ唯一無二のインサイトによってこれらを可能にしているのです。

IQVIAは、患者様の個人情報の保護の分野においても世界をリードしています。ヘルスアウトカムを発展させるのに必要な情報を収集し分析する一方で、様々なプライバシー保護のための技術や安全対策に取り組んでおります。IQVIAが持つインサイトや実行力は、患者様の治療・治癒の実現を目指すバイオテクノロジー企業、医療機器メーカー、製薬企業、医学研究者、政府機関、保険者その他の医療関係者の皆様が、疾患や人間行動、サイエンスの進歩を追求するのにきつとお役に立てるものと考えております。IQVIAの詳細な情報はこちら(www.iqvia.com)をご覧ください。日本向けのURLはこちら(www.iqvia.co.jp)

※IMS HealthとQuintilesのグローバル統合ブランド“クインタイルズIMS”は、2017年11月6日(米国東部標準時)に“IQVIA”となりました。日本法人では2018年4月1日をもちましてIQVIAジャパングループとなりました。

本件に関するお問合せ先

IQVIA 広報マーケティング統括部 広報担当

TEL 03-6894-5420

Email jp.coms@iqvia.com